

24. 本籍人口、現住戸數、現住人口總數及男女別 (地方別) 明治四十一年十二月三十一日

Table with columns: 地方, 本籍人口 (男, 女, 計), 現住戸數, 甲種現住人口 (男, 女, 計, 女百=付男, 一方里=付人口, 一戸=付人口). Rows include 統計區畫, 道府縣, 東北區, 關東區, 北陸區, 東山區, 東海區, 近畿區, 中國區.

24. 本籍人口、現住戸數、現住人口總數及男女別 (地方別) 明治四十一年十二月三十一日 續

Table with columns: 地方, 本籍人口 (男, 女, 計), 現住戸數, 甲種現住人口 (男, 女, 計, 女百=付男, 一方里=付人口, 一戸=付人口). Rows include 四國區, 九州區, 沖繩縣, 總計. Includes detailed text and formulas for population calculations.

本表掲ケル所ノ甲種現住人口ハ本籍人口ト同シク明治三十一年內閣訓令第一號ニ依ル毎五年調査ノ第三回ニ屬スルモノニシテ從前ノ例ニ依リ各市町村ノ本籍人口ニ其ノ市町村ノ出入寄留人員並兵營軍艦及監獄ノ人員ヲ加除シテ算出シタルモノナリ今之ヲ以テ同年本籍人口ニ比スレハ總數ニ於テ約二百十萬餘ノ差増アリ尙本籍人口ハ臺灣樺太及外國行者ノ數約五十萬餘ヲ包含スルヲ以テ之ヲ控除スルトキハ實ニ約二百六十萬餘ノ差増ト是レ入寄留數ノ出寄留數ニ超過スルニ依ル元來内地ニ於ケル出寄留數ト入寄留數トハ相吻合スルヲ以テ當然トスヘキニ却テ入寄留ニ此ノ如キ超過アリ其差増ノ誤謬タルヲ論ヲ待タズ我邦現行人口調査ノ方法ハ單ニ簿冊ニ依テ出入ヲ加除スルニ過キス前段ノ誤謬ハ此ノ方法ニ伴フ結果ニシテ其ノ人其ノ地ニ就キ調査スル所謂國勢調査ノ方法ノ實行セラル、迄ノ到底之ヲ如何トスヘカラス

- 一 出入寄留ノ差引上入寄留ノ超過ハ出寄留者ノ出寄留届ヲ怠ルニ依テ出寄留ニ脱漏アルト入寄留者ノ退去届ヲ怠ルニ依テ入寄留ニ重複アルトニ基クモノトス但出寄留届ノ脱漏ト入寄留届ノ重複トカ何程アルヘキヤハ知ルヘカラスト雖トモ要スルニ雙方ニ誤謬アリト假定ス
二 次ニ各府縣ニ就テ此脱漏重複カ何程アルヤハ之ヲ知ルヘカラスト雖トモ今又各府縣悉ク此ノ脱漏重複アルモノト假定ス
三 次ニ出入寄留ノ多キニ從ヒ雙方同一ノ程度ヲ以テ脱漏重複モ多キヲ加フルモノト假定ス
四 依テ各府縣ノ出入寄留數ニ重複脱漏ヨリ生スル全國ノ誤謬ヲ按分シ先ツ各府縣ノ誤謬ヲ算出セリ
五 次ニ右算出ノ誤謬ヲ其ノ縣ノ甲種現住人口ヨリ控除シテ茲ニ其ノ縣ノ乙種現住人口ヲ算出セリ

其縣甲種 = (全國入 - 全國出) / (全國入 + 全國出) * (其縣入 + 其縣出)
各府縣乙種現住人口ハ右ノ如キ方法ニ依テ算出セルモノニシテ果シテ事實ニ近キヤ否ヤ固ヨリ知ルヘカラス唯推理上甲種現住人口ニ比シテ稍事實ニ近カハルヘシトスルニ過キス且ツ其ノ方法ニ於テモ尙精確ヲ關クモノノ少ナカラズ例ヘハ出入寄留ノ誤謬ノ程度ヲ雙方同一ニ比例ト視做スト雖トモ事實ハ必スシモ然ラサルヘシ唯其程度比例ハ之ヲ正確ニ知ルノ道ナクシテ亦如何トモスヘカラスカ如キ是ナリ乃チ此ノ算出ハ實ニ已ムヲ得サルニ出ツルモノニシテ其ノ價值モ亦知ルヘキニヨリ況ンヤ其ノ算出ニ方リ加除ノ基本トセル本籍人口ノ數モ亦毎年出生死亡届洩ノ申告、複本籍者除籍及無籍者就籍ノ事實アルニ依リ之ヲ見ルトキハ之ヲ點查スルニ用ウル戸籍簿ニ脱漏空員アルヲ徴スヘクシテ其ノ精確ニ關ク所アルヲ知ルヘキニ於テテヤ又此ノ如キ算法ハ之ヲ府縣ノ如キ稍人口ノ多數ナルモノニ用キテ多少ノ價值アリト雖トモ市町村ノ如キ小區域ノ地ニ用ウヘカラス論ヲ待タズ故ニ本年鑑載スル所ノ市町村人口數ハ凡テ甲種現住人口トス
明治四十二年乃至大正元年ハ毎五年調査ノ間隔ノ年ニ相當ス依テ同三十六年ト四十二年トノ乙種現住人口ノ間ニ於ケル一箇年ノ幾何ノ人口增加率ヲ算出シ之ヲ同四十二年乙種現住人口ニ乘シ遞次其ノ年ノ乙種現住人口ヲ推計セリ其ノ式ヲ例示セハ下ノ如シ
其縣四一年乙種 * 5 / (其縣四一年乙種 / 其縣三六年乙種) = 其縣四二年乙種 其縣四二年乙種 * 5 / (其縣四一年乙種 / 其縣三六年乙種) = 其縣四三年乙種
現住戸數モ亦右訓令ニ依ル毎五年ノ調査ニ依リ此數ハ一世帯ヲ爲ス總數ニシテ戸主ノ數ニ非ス